

「あいち山村振興ビジョン 2030（仮称）中間案」に対するご意見の概要と県の考え方

該当箇所	御意見の概要	県の考え方
<p>3 「あいち山村振興ビジョン 2025」策定後の変化</p> <p>（3）山村地域の魅力の再認識・新たな価値の創造</p> <p>柱2 賑わいのある地域をつくる</p>	<p>リニモの延伸を軸にした、県の魅力や移住への魅力を増す、人にやさしい新しい日本の山里の開発</p>	<p>三河山間地域の魅力については、地域資源を磨き上げるとともに情報発信を進めており、また、移住先としての三河山間地域の認知度を向上できるように取組を実施しております。</p> <p>御意見については、関係局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>3 「あいち山村振興ビジョン 2025」策定後の変化</p> <p>（3）山村地域の魅力の再認識・新たな価値の創造</p>	<p>カーボンクレジット制度を活用した、山林エリアを擁す自治体の財政・収益力の強化</p>	<p>森林クレジットについては県内で活用された事例がほとんどなかったことから、県有林において実証事業を行うとともに、クレジット創出者向けの研修の実施やセミナーの開催など、県内での活用促進に取り組んでおります。</p>
<p>柱2 賑わいのある地域をつくる</p> <p>●愛知産ジビエ等の利用促進</p>	<p>熊がいると観光や生活に大打撃になるため対応してほしい。</p>	<p>ツキノワグマの目撃件数については、今年度突出して増加している状況ではなく例年通りで、人身被害も報告されておりませんが、クマによる人身被害等を未然に防止するため、県内でのクマ出没状況や注意喚起をW e b サイトにより発信しています。</p>
<p>柱3 働き、暮らせる地域をつくる</p> <p>●農林水産業の担い手確保・育成</p>	<p>農業関連の国の補助金は大規模農家の育成を中心にしており、農業分野における副業的マイクロビジネスは切り捨てられている。</p> <p>国の後追いではなく、新しいことを愛知県もしてほしい。</p>	<p>御意見については、関係局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

柱5 地域の自然を守り、育てる ●鳥獣被害対策の推進	クマの出没が多発しており、山林内での作業はもちろん、山に近接する農地での作業もままならない状況であるため、なんとかして欲しい。	ツキノワグマの目撃件数については、今年度突出して増加している状況ではなく例年通りで、人身被害も報告されておりませんが、クマによる人身被害等を未然に防止するため、県内でのクマ出没状況や注意喚起をWebサイトにより発信しています。
-	自転車・サイクリングロードの整備をエコツーリズムの柱に位置づけ、関係人口創出を加速	三河山間地域は、豊かな自然を活かし、サイクリングを楽しめる環境が整っております。2026年に開催される第20回アジア競技大会において、新城市内を発着する自転車競技が開催されることとなっており、国内外から多くの観光客が訪れることが予想されます。 御意見については、関係局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
-	公共交通機関への自転車持ち込み規制緩和と、新モビリティサービスの低炭素化	御意見については、関係局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
-	カーボンニュートラルプロジェクトにフードロス削減と緑化を連動させ、持続可能な地域経済を強化	御意見については、関係局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。